

雇用調整助成金対応研修

子どもの権利条約と保育実践

いま私たちに何ができるか

ワーカーズコープ九州・沖縄事業本部
福岡市子育て見守り訪問・深夜電話相談
統括コーディネーター 山口 祐二
2020年5月19日(火) 13:40～15:40

1. 「フラット」「リンク」「シェア」

著書『インターネット的』（2001年）で糸井重里は、インターネットが生まれたこの時代に大切になる価値観は「フラット」「リンク」「シェア」だと、予言的に述べています。かつてご近所や親戚など地域で担ってきた子育てや介護などを、核家族化が進む中で、私たちは行政等のサービスとして補ってきました。いつかそれが当たり前になって、サービスして頂くという上下の関係、する側される側という分断・孤立、資格を持った専門家でないとできないという独占、を生んで、結果として人々を無力化してしまったのではないかと思います。「フラット」「リンク」「シェア」は「上下」「分断・孤立」「独占」の社会を修正するものだと考えられます。日本社会の最大の問題の1つは、社会を構成する上部のリーダーが責任を回避する避責任に陥っていることです。どこに責任があるのか分からないし、誰も責任を取らないのが当たり前になっていないでしょうか。子育てや教育では、誰かが「私が責任をもってやる」「育てる」「守る」と腹を括らないと成り立たないもののなのに、それが希薄になっているのです。 2

2. 自分を大切にするチェック

人と関わることが多い人は、まず自分を大切（元気）にする

- いま食べたいものは何ですか
- ゆったり入浴していますか、しっかり眠っていますか
- 誰かに会っていますか、話していますか
- 自然に触れていますか、運動して（汗をかいて）いますか
- 歌ったり書いたり描いたり作ったり、何か表現していますか
- 変わるものと変わらないものを意識していますか
- 季節の年中行事や法事などにかかわっていますか
- 心身のメンテナンスを定期的にやっていますか
- 近いうちに楽しい予定がありますか
- 自分を大切にするプログラムが日常に組み込まれていますか

インに行っていますか？！

人と関わることが多い人は、まず自分を大切（元気）にする

- 病院に行っていますか
- 歯科院に行っていますか
- 整体、整骨、鍼灸院に行っていますか
- 美容院に行っていますか
- 大学院（新たな学び）に行っていますか
- 寺院（法事やパワースポット）に行っていますか
- 湯布院・法華院（温泉）に行っていますか
- INN（宿泊・旅行）に行っていますか

権利（人権）を意識したことがありますか？

憲法第25条（生存権）

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

生活保護

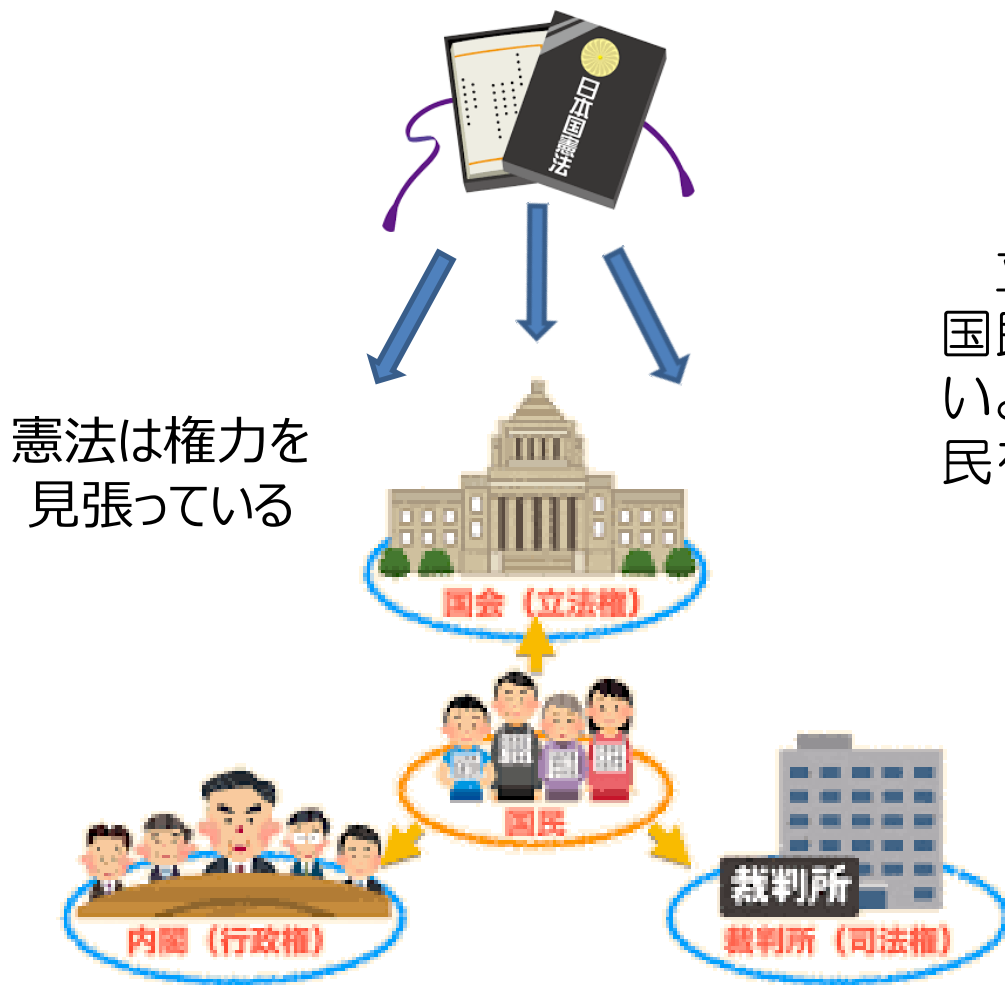
ホームレス

セーフティーネット

朝日訴訟



そもそも、憲法って何？



憲法は三権を監視する

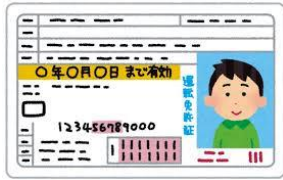
立法、行政、司法という三権が国民の権利を蔑ろにすることがないように見張って（縛って）、国民を守っている。



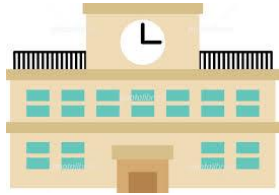
憲法は国民を見張っていない

権利と義務（責任）

義務を伴う権利



運転免許



専門学校



看護師



電気工事士

それぞれ義務（責任）がある

義務を伴わない権利

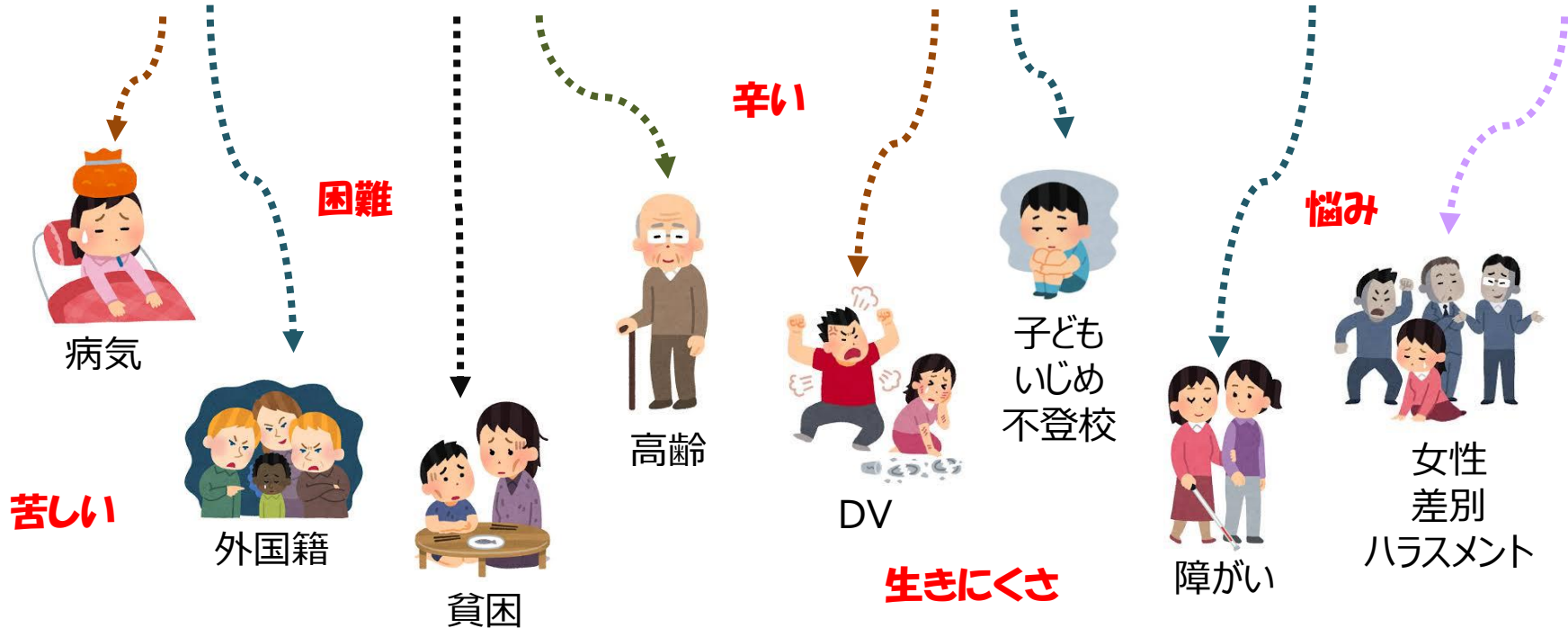


生存権（生きる権利）は、
人が生まれながらに持っている権利で、義務（責任）
はない。

税金（義務）が納められないくらい経済
状況が厳しいから、生活保護を受給される

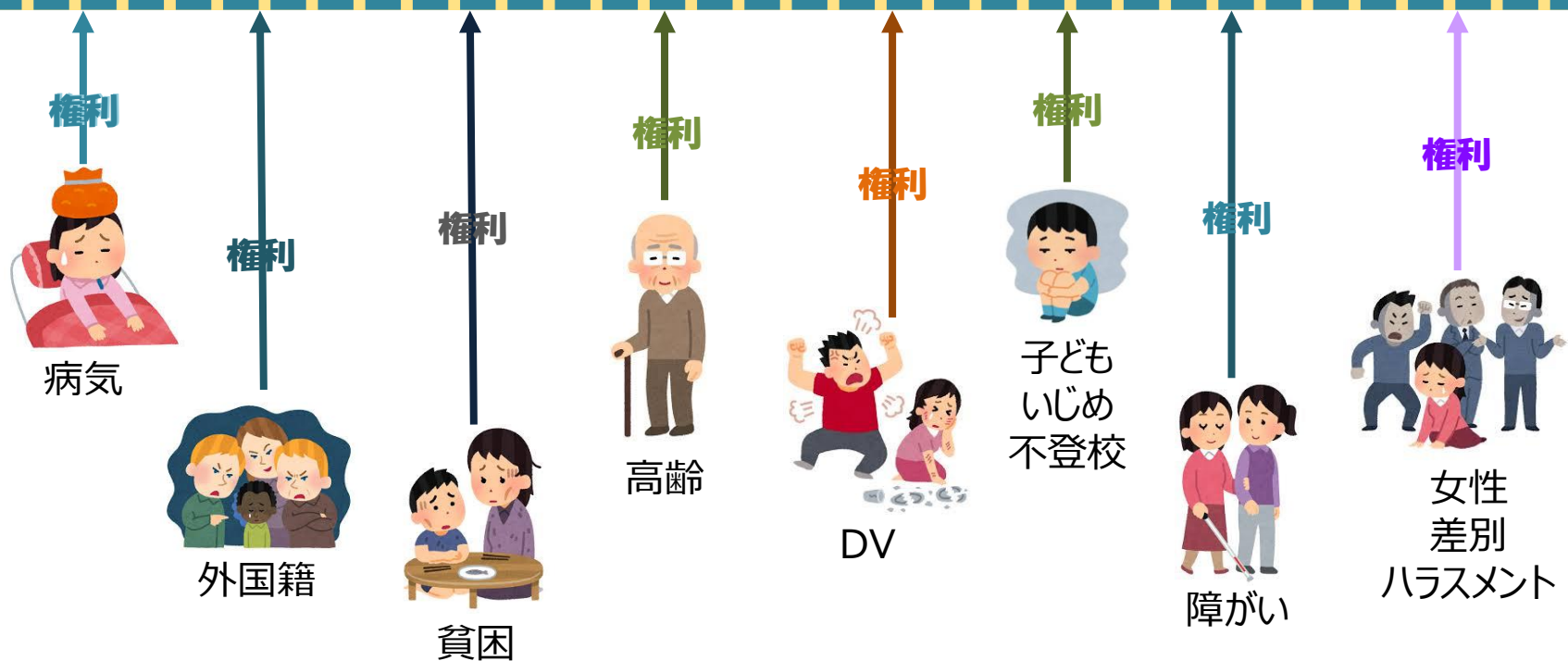
日常生活では見えない権利

普通の生活



日常生活では見えない権利

普通の生活



子どもの権利条約と法律



1989年国連で採択



1994年
日本批准



憲法に照らし合わせる



各法律を整える



児童虐待防止法福祉法
児童買春・ポルノ禁止法

新しい法律



児童福祉法
少年法
母子保健法
児童手当法

児童扶養手当法
母子及び父子並びに寡婦福祉法
特別児童扶養手当等の支給に
関する法律

児童福祉法の改正（子どもの権利条約）

- 1989年、子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）が国連で採択され、1994年日本も批准した。条約は、憲法について尊重しなければならないもので、児童福祉法や少年法などの法律も、子どもの権利条約を批准したことによって、大きく改正された。
- 特に児童福祉法は2016年に制定以来最大と言われる改正が行われ、条文の中に子どもの権利条約の精神が記述された。

旧

第一条 すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない。

2 すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない。

第二条 国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。

改正

第一条 全て児童は、**児童の権利に関する条約の精神にのっとり**、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。

第二条 全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、**その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され**、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

○2 児童の保護者は、児童を心身ともに健やかに育成することについて第一義的責任を負う。

○3 国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。

子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）

4つの柱

- 1 **生きる権利** 子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、健やかに成長する権利を持っている。
- 2 **守られる権利** 子どもたちは、あらゆる種類の差別や虐待、搾取から守らなければならない。紛争下の子ども、障害を持つ子ども、少数民族の子どもなどは、特別に守られる権利を持っている。
- 3 **育つ権利** 子どもたちは、教育を受ける権利を持っている。また、休んだり遊んだりすること、様々な情報を得て、自分の考えや信じる事が守られることも、自分らしく成長するためにとっても重要である。
- 4 **参加する権利** 子どもたちは、自分に関係のある事柄について自由に意見を表したり、集まってグループを作ったり、活動することができる。その時には、家族や地域社会の一員として、ルールを守って行動する義務がある。

子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）

特に重要な権利

- 第2条** 締約国は、その管轄の下にある児童に対し、児童又はその父母若しくは法定保護者の人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治的意見その他の意見、国民的、種族的若しくは社会的出身、財産、心身障害、出生又は他の地位にかかわらず、いかなる差別もなしにこの条約に定める権利を尊重し、及び確保する。
- 第3条** 児童に関するすべての措置をとるに当たっては、公的若しくは私的な社会福祉施設、裁判所、行政当局又は立法機関のいずれによって行われるものであっても、**児童の最善の利益**が主として考慮されるものとする。
- 第12条** 締約国は、自己の意見を形成する能力のある児童がその児童に影響を及ぼすすべての事項について自由に自己の**意見を表明する権利**を確保する。この場合において、児童の意見は、その児童の年齢及び成熟度に従って相応に考慮されるものとする。

あらゆることを子どもを最大限大切にすることを中心にして考える

エピソード ～子どもの権利保障～

- 「義父に殺される」と児相に保護を求めた小6女子
- 児童養護施設に入所
- 登校初日に、ボーイフレンドを連れてきた
- 学校でも施設でも次々にトラブルを起こす
- 義父は、毎日児相に行って「娘を返せ」と怒鳴る
- 児相は措置解除し、施設は子どもを親元に返した
- 施設に断りを入れ、弁護士を連れて児相に抗議に行く
- 精神科医がDV認定し、県外に母子を保護
- 児相は、2年間にわたって、施設に嫌がらせ
- 事務員「30年いるけど、児相に逆らったのは初めて」
- 子どもを守るためには、自分が意見表明できなければならない

親権から親責任＆子権へ

ヨーロッパでは、子どもの権利を最優先で考えるということから、親権という考え方から、子どもが18歳になるまで、親は子どもを育てる義務があるという親責任・子権という考え方に移行している。たとえば別居しようと離婚しようと、18歳になるまでは定期的に父母と一緒に子どもと面会したり食事をしたり進路の相談にのったりしなければならない。まわりの会社や地域の人にはそれを支えなければならないようになっている。養育費は確実に子どもに届けられるように（税金のように）給与から天引きされて、行政から支給される形をとっている。明石市は、昨年从不払いとなった養育費を補填（ほてん）する全国初の制度を導入している。ひとり親の保証料を“肩代わり”し、年間最大60万円の養育費を確実に受け取れるようにしている。

日本では、子どものことは後回しで、親の考えや都合が優先される親権に固執しているので、子どもの考えや感情などはほとんど考慮されることがない。

子どもアドボカシー（意見表明権の具現化）

- 児童福祉法の改正を受けて、これから10年間に、各都道府県や政令市では、子どもアドボカシー制度を設置しなければならない。
- 子どもに寄りそって、意見が表明できるように応援したり、代弁したり、環境に働きかけたりする人を要するプロフェッショナルな機関である

設置の形態

- ・ 都道府県や政令市等に設置されている児童福祉審議会の専門機関という位置づけで作る場合。
- ・ 独立アドボケイトとして、県知事や市長の直属の機関として設ける

対象とする子ども

- ・ 要保護児童など、主に児童養護施設や里親のもとで生活する子ども
- ・ いじめ、不登校、体罰など学校等で困っていたりする子どもも含む

- 国に、子ども独立アドボケイト（オンブズパーソン）を設置し、福祉、教育、司法、医療などあらゆる分野における子どもの生活の改善する

スキル1㊦ 寄りそうためのスキル

- 話したい話をしてもらう
- 合せる（身体・声）
- あいづち
- 「なるほど」を上手に使う
- 「でも」「だけど」「しかし」は使わない
- ワンダウン
- リフレクション
- 「ちょっと待ってね」
- 「へ～」
- 「なんで」「どうして」は避ける
- 「わかるよ」「大変だったね」は要注意

スキル③ 気持ちを聴くためのスキル

- そのときどんな気持ちだった？
- びっくりしている
- 沈黙を受けとめる
- 気持ちを感じられない子
- 表現のバリエーションを豊かにする
- ソフトな尋ね方
- 「どうしたい？どうしてほしい？」

体力 関わることの基本姿勢

- 関心を持ち続ける
 - ・ ・ ・ 自分は大切な存在だと感じてもらう
- 気持ち・感情を受けとめる
 - ・ ・ ・ どんな気持ち？どうしたい？どうしてほしい？
- 孤独感（ひとりぼっち）を和らげる
 - ・ ・ ・ 一人で頑張ってきたんだね！
- フラットな関係性を作る
 - ・ ・ ・ 挨拶する 誘う お願いする 相談する

日常生活をチェックする（心配する）

～大切に（心配）されると、自分を大切に、人にも優しくなれる～

- 食べる ・ ・ ・ みんなで食べることを生活(居場所)の中心に
 - ・ 「気持ちがつかめないときは胃袋をつかめ！」
 - ・ 動物は食べ物を配って一緒に食事をするのではない
- 眠る 生活リズムを作ること、心身を癒し脳を発達させる
- 入浴する・着替える 日常生活が清潔に送れているか
- 遊ぶ ・ ・ ・ 元気になる
 - ・ たくさんの感情（楽しい、悔しい、悲しい）を体験する
 - ・ 様々な社会的なこと（ルール、人間関係、危険）を学ぶ
 - ・ 人とつながる、自分とつながる
 - ・ 発達する 背筋力の低下 97年で国は調査を中止
 - ・ 遊ぶことで癒される ・ ・ ・ 子どもの遊びは“言葉”
- 働く、役に立つ、責任を果たす ・ ・ ・ 自己効力感

想像力⊖ 子どもの問題の背景にあるもの

何か変だなと感じるとき

- 喪失 ...大切なものを失っている
 - 自責感情 ...あなたは悪くない、あなたのせいでない
 - 言えない辛さ ...言えないよね、話せる人がいたらよいのに
- 不足 ...必要なものが足りない、ない、満たされていない、自分だけない、比較されている
- 傷つき ...いじめ、暴力、無視、差別
 - 攻撃的になることの背景を考える
- ストレス ...プレッシャー、被害、過剰な期待
 - (本人の望みや特性と異なる) 生き方の強要
- 疾病・障がい ...内臓疾患、発達障がい、精神疾患、身体障がい

想像力⊖ 状況の（多面的な）理解・把握

- いじめ・体罰
- 孤独・孤立
- プライド・劣等感
- 多忙・疲労
- 喪失・挫折
- 貧困・経済的困難
- 差別・理不尽
- 性・ジェンダー
- 疾病・障がい
- 災害・事故・事件
- 犯罪・被害
- きょうだい葛藤
- 矛盾・葛藤・対立
- 傷つき・トラウマ
- ストレス・プレッシャー
- （文化）ギャップ
- 秘密
- 芸術・創造
- スポーツ・チャレンジ
- 成長・メタモルフォーゼ
- シンクロニシティ
- コンステレーション
- 元型（アーキタイプ）

スキル⑩ 様々な話題に対応するスキル

- 抽象的な話 ⇔ 具体的な話
- 過去の話 ⇔ 現在の話
- 怒り・攻撃性 ...守りの奥に傷つき、痛み、苦しみ、悲しみ
- 訴え ...「怒鳴り込まれたら勝ち」
- 恋愛 ...満たされていないもの
- 死にたい ...生きられていない何かがある
- 不安 ...漠然としたものに苦しめられる
- 未来 ...ネガティブな過去に囚われて今に集中できない
- 泣く・嘆く
- 信仰・宗教・スピリチュアル

スキル④ 重たい体験

- 幼少期の喪失・見捨てられ体験 ・ ・ ・ 自分存在の否定
- 受けとめられない体験 ・ ・ ・ 自己破壊・解離
- 抱えきれない秘密 ・ ・ ・ バラバラな（理解できない）話
- 性的な体験・暴露 ・ ・ ・ 性化行動
- 選んでしまう、出会ってしまうこと ・ ・ ・ 親・家族の経験
- 幼少期の分離体験・ストレス ・ ・ ・ 吃音、緊張

スキル⑤ 様々な感情に対応するスキル

- 悲しみ
- 痛み
- 苦しみ
- 寂しさ
- 喜び
- 楽しさ
- 嬉しさ
- 恐れ
- 嫉妬
- いや
- 空しい

- 申し訳ない
- 悔しい
- 心細い
- しんどい
- 恥ずかしい
- 憎い
- 心配だ
- みじめだ

- ドキドキ
- イライラ
- ヒヤヒヤ
- クヨクヨ
- ピリピリ
- ソワソワ
- ルンルン
- ビクビク
- ハラハラ
- オドオド
- アキアキ

インクルーシブな（保育・教育の）視点



野島千恵子

30年以上前から、障害のある子どもや年齢の違う子どもと一緒に育てる「**インクルーシブ保育**」を実践。年齢も能力もバラバラの小さなグループで課題に取り組ませる。あれこれ指示はしないで言葉がつかないところをフォローしながら、意見をぶつけ合わせ、相手を尊重する力を身につけさせる。このプロセスの中で、子どもたちは互いに刺激を受けながら、成長し合っていく。



木村泰子

インクルーシブ教育で「不登校ゼロ」をめざす大空小学校。特別支援教育の対象となる障害がある子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学ぶ。ふつうの公立小学校だが、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もしょいになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきた。学校が変われば、地域が変わる。そして社会が変わっていく。



鹿嶋真弓

核家族化が進み、地域社会の結びつきが薄れている昨今、他人と関わる場として、学校の役割はますます大きくなっていると、鹿嶋は考える。生徒達は、コミュニケーションの力が落ちていて、人付き合いが苦手で、ほっておくと、なかなかクラスメートと関わろうとしない。**構成的グループ・エンカウンター**のプログラムを駆使し、生徒同士を関わらせる。生徒一人一人が絆（きずな）の糸でつながり、ネットワークが張り巡ったクラスに、いじめや学級崩壊は起こりえない。²⁶

インクルーシブなアプローチ

- ひとり親家庭の孤立

「向こう三軒両隣に粗品をもって挨拶に行く」というような習慣が廃れてきたので、転居してきても、誰が越してきたのか、子ども（赤ん坊）がいるのか等をご近所が把握してない。ひとり親家庭の親は多忙（ダブルワーク等）で、町内会、子ども会、PTA等との関わりも持ちにくい。商店街に買い物に行ったりして、地域の情報に触れることも少ない。そのために「泣き声通告」されてしまう可能性がある。

- 新しい『里（さと）』の必要性

「子育てする母親には母親（実家）が必要である」と言われる。子育てには経済的、精神的、（子どもを預かったりする）日常的な支援がかかせない。孤立しがちで、リソースと繋がりにくい家庭を、大きな家族で包み込むようなインクルーシブなネットワークを作って支え、その拠点となる『里（さと）』を創造していきたい。

カウンセラー(対話)からワーカー(鼎話)の時代へ

- 家族や近所、親戚、地域社会、企業社会がまがりなりにも機能していた時代は、そこからこぼれ落ちてたり逸脱した人を受けとめて悩みを聴いたりアドバイスするカウンセラーや相談所が有効で、癒されたり元気を取りもどした人は、また社会に戻っていった。
- しかし、激しく変化していく時代の中で、家族や地域社会がつながりを失い、十分に機能を果たせなくなり孤立の状況が進み、こぼれ落ちてやってくる人を待っているだけでなく、地域社会や家庭に入って（アウトリーチ）いって、つながりを作ったり、うまく機能するように働きかけるワーカーの仕事が必要になっている
- かつてはおすそ分けを持ち寄ったり、縁談やお見合いの世話を焼いたりするおせっかいなおばさんがたくさんいたが、現代のおせっかいおばさんおじさんは、地域社会のニーズをつかんだ社会福祉の専門スキルを身につけたおせっかいワーカーになる必要がある

専門家から（なんでもやる）お百姓さんへ

- 仕事でも家族でも、何か問題が起こった時、専門家や相談機関が整って相談できる所が増えた為に、以前だったら相談に乗っていた身近な友人や知人が「自分は専門家ではない」と関りをもたなくなっている。しかし、できるだけ早く対応した方がよいし、誰にでも少しずつできる手助けや応援はある。対人的な援助や教育は、知識やスキルも大切だけれど、いろいろな場面での小さな経験の積み重ねでしか身につかない。様々な人間関係の場面や問題に出会うことなしに、解決力が高まることはない。
- 専門家や機関が有効に働くためにも、身近で、日常の支えあいや助け合いができる身近なおせっかいおじさんおばさんの存在が大切である。かつては父（母）であり、息子（娘）であり、米や野菜を作り、牛馬や鶏を飼い、町内や農協の仕事をし、土木や大工をし、商品を販売し、PTA役員をし、甥っ子姪っ子の面倒を見、子どもを育てる等など、多彩な活動（百姓）をする責任ある大人がたくさんいて、信頼され、尊敬された。

（おせっかい）ワーカーの専門性は、普通の良心

- 子どもは（国の）宝・・・つながり続くことが命
新しい命が生まれて健やかに育つ以上に価値あることは世の中にはない
その普通のこと、当たり前なのが希薄になっている
『こんにちは赤ちゃん』120万枚の大ヒットでレコード大賞受賞
赤飯や紅白餅、饅頭を近所に配って地域社会で祝った文化を取り戻す
- 普通の感覚、お互い様の良心に従って行動できるか
子どもが泣いたら心配する、ご飯を食べていなかったら食べさせる
親が困っていたら助ける、預かる、風呂に入れる、悪いことは叱る
- 親を批難しても子どもは幸せにならない
虐待されている子は保護しなければならないことがあるが、親を刑務所に入れて、施設や里親に預ければ子どもが幸せになるわけではない
親を批難しているだけの人は「私は何もしない」と言っているようなもので、かつては見て見ぬふりは恥ずかしいことだった

必要なもの(大人にも子どもにも)

身のまわりに揃っていると、ストレスに対応しやすい

- 味方 私（の自信、存在）を支え認めて助けてくれる人
- 仲間 遊んだり食事したり話をしたりする友だち
- 居場所 安心安全でくつろげる場所
（縁側のように）そこに居てもいなくても良い場所
- 活動 楽しかったり、力を合わせ、役割を担ったり、
責任を果たし、充実感を感じる（自己効力感）
- モデル 生きていく具体的な道筋や方向性を示す人、
言葉、物語、伝統、信仰、文化
- 支え 子どもを守る家族（に代わるもの）、システム、
制度、法律・・・自立とは依存先を増やすこと
※レジリエンスのベースになるもの

日常生活をチェックする（心配する）

～大切に（心配）されると、自分を大切に、人にも優しくなれる～

- 食べる・・・みんなで食べることを生活(居場所)の中心に
 - ・「気持ちがつかめないときは胃袋をつかめ！」
 - ・動物は食べ物を配って一緒に食事をするのではない
- 眠る 生活リズムを作ること、心身を癒し脳を発達させる
- 入浴する・着替える 日常生活が清潔に送れているか
- 遊ぶ・・・元気になる
 - ・たくさんの感情（楽しい、悔しい、悲しい）を体験する
 - ・様々な社会的なこと（ルール、人間関係、危険）を学ぶ
 - ・人とつながる、自分とつながる
 - ・発達する 背筋力の低下 97年で国は調査を中止
 - ・遊ぶことで癒される・・・子どもの遊びは“言葉”
- 働く、役に立つ、責任を果たす・・・自己効力感

関わることの基本姿勢

- 関心を持ち続ける・・・存在を認められ、大切にされる実感
「愛の反対は憎しみではなく無関心です」 マザー・テレサ
- フラットな関係・・・挨拶 誘う お願いする 相談する
対等な関係の時に人は語り始める
- 気持ち・感情を受けとめる・・・どんな気持ち？
どうしたい？
どうしてほしい？
- 孤独感を和らげる・・・1人で頑張ってきたんだね

子どもの問題の背景にあるもの

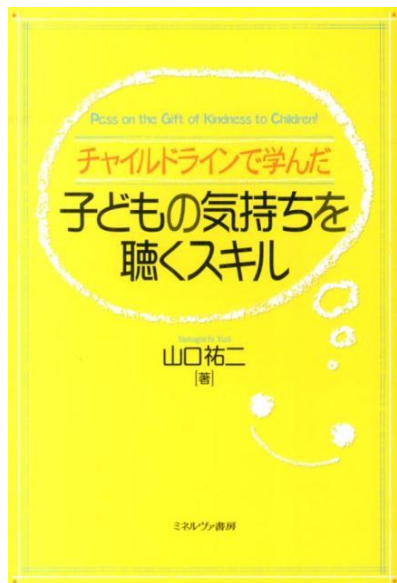
何か変だなと感じるとき

- 喪失 …大切なものを失っている
 - 自責感情 …あなたは悪くない、あなたのせいでない
 - 言えない辛さ …言えないよね、話せる人がいたら
- 不足 …必要なものが足りない、ない、満たされていない、自分だけない、比較されている、貧困
- 傷つき …いじめ、暴力、無視、差別
 - 攻撃的になることの背景を考える
- ストレス…プレッシャー、被害、過剰な期待
 - (本人の望みや特性と異なる) 生き方の強要
- 疾病・障がい …内臓疾患、発達障がい、精神疾患、身体障がい

関わりにくい子ども（被虐待児など）

- まわりを暴力やストレスに引き込む子ども
- 孤立と対立 … 問題が大きい子どもが集団に入ると、スタッフ間に孤立や対立が起こりやすい … まず孤立や対立を解消する
- 情報の公開と共有化 … スタッフ全員が知っていることが非常に大切
- 背景に暴力等がある子どもと関わると、援助者・指導者も傷つく…二次受傷
- 問題が大きいほど、担当者の責任を軽くし、全員で支える体制が不可欠
- 会議 … 関わりのある全ての人・担当が参加する 生活する現場で開く
最も困っている人を中心に議事を進行
できれば当事者である子どもや保護者もまじえて話をする
シェアリングの場である … 愚痴を出し合うことも必要
やれないこと足りないものが見えてくる … 連携、応援を求める
- 各人 … できることやれそうなことこれからしようと思うことを語る
- 守秘義務 … 大きな輪（拡大ファミリー）で包み込むように関わる
- クライシスインターベンション … 一定期間（2週間～1カ月）集中的に関わる
- 被害者としての視点 … その子自身が被害やストレスに晒されていないか

7. 参考図書



今日の講義を深めたい人は、読んでみてください。

電話相談の経験を元に考え方やスキルをまとめました。

実際のエピソードをデフォルメして載せています。

傾聴という言葉を使わずに書いています。

だいたい近くの図書館にあります。

紀伊國屋、ジュンク堂で売っています。